

令和4年度「地域発 元気づくり支援金」事業実施結果(北信地域)

整理番号	主事業区分	タイプの別	申請者	事業名	事業内容 ①：ソフト事業 ②：ハード事業 (単位：千円)	総事業費 (円)	うち 支援金額 (円)	講評
1	教育、文化の振興	ソフト	特定非営利活動法人 信州ふるさと郷育ネットワーク	子どもの環境・郷土学習に関する事業	地域の歴史や文化に触れ、郷土愛に溢れた子どもを育てるために、中野市の歴史や文化等に関してまとめ、2016年から小学3年生を対象に「中野ふるさとドリル」を配付してきた。今年度は、教育現場でも活用が進むタブレットに対応するための改修を行うほか、ふるさと検定もアプリ化し、受験者数の増加を目指した。 ①ふるさとドリルWEBアプリ制作費用、ジュニア検定WEBアプリ制作費用等(1,398)	1,398,940	1,118,000	・これまで小学3年生を対象に配付してきた教材をWEBアプリ化したことで、郷土の歴史・文化・産業について年齢や場所を選ばず、学ぶことを可能にした。
2	教育、文化の振興	ソフト	明日はきのこを食べようプロジェクト協議会	きのこの魅力発信事業	中野市が日本一の生産量を誇るきのこですが、地元企業では近年、就職希望者が減少し人手不足が進んでいる。そこで、消費拡大や認知度を高めるため、幼稚園児へのきのこほぐし体験・絵本配付、小学生のきのこ工場見学・栽培体験を行うほか、きのこの消費量が低下する春夏のきのこの楽しみ方を提案する、きのこフードフェスを開催した。 ①小学校児童へのきのこ食育強化事業(冊子作成費、栽培体験キット購入費等)、幼稚園、保育園へのきのこ食育強化事業等(1,008)	1,008,700	806,000	・工場見学により、地域で盛んな産業を児童が体験的に学ぶきっかけをつくった。 ・小学校や幼稚園・保育園の授業で扱ってもらい働きかけなどに工夫の余地がある。
3	教育、文化の振興	ソフト	プランクリエ・ミュージックアートプロジェクト	《バラと芸術を結ぶ》映画「バラのラブソング～時が咲いた」プロジェクト	申請者が「一本木公園」をイメージして作曲したオリジナル楽曲「バラのラブソング～時が咲いた」にアニメーション映像を加えたショートムービーを制作し、中野市博物館のプラネタリウムでの上映コンサートを実施して「バラのまち信州中野」ブランド確立の推進と観光PRを狙った。 ①映像制作費(700)、出演料(100)、チラシ印刷費等(203)	1,003,507	800,000	・ワークショップへの中学生の参加、作成した映像の上映は、地元の人が魅力を再発見する機会となった。また、マスコミに取り上げられたことは、バラ観光のPRにつながった。

整理番号	主事業区分	タイプの別	申請者	事業名	事業内容 ①：ソフト事業 ②：ハード事業 (単位：千円)	総事業費 (円)	うち 支援金額 (円)	講評
4	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト	Sakefeti (サケフェチ)	うまいもんと地酒 信州 SOUL2022 復活、そして伝説へ・・・～	北信地域の魅力的な食材や酒類の魅力を発信し地域の振興を図るために、9月11日(日)に陣屋前広場公園で、お酒の有料試飲と飲食の販売及びテイクアウトのイベントを実施し、感染対策を講じながら、時代に合った食の魅力発信を目指す。 イベントは、県内の酒蔵、北信地域の飲食店等が出店し、1,000人程が来場した。 ①サケフェチイベント費用(会場設営資材費、広告宣伝費、チラシ等) (2,716)	2,716,736	1,547,000	・コロナ禍にあって、テイクアウトブースと飲食スペースを分けるなど、感染対策をとって、北信地域の食の魅力を広く発信した。 ・来場者がイベント後に参加店に来店する、6割以上を占める市外在住者が公共交通を利用するなど、地域への波及効果があった。
5	地域協働の推進	ハード	中野市	手づくり農村支援事業	高齢化や後継者不足により、農作業の負担が増加する農村地域で、負担軽減や効率化、地域協働による自立した基盤整備を推進するため、農道や用排水路の補修等に必要な材料支給や重機の提供の支援を行う。 ②農道舗装9地区(6,380)、水路改修8地区(5,582)	11,962,491	5,721,000	・高齢化が進む農村地域での作業の負担軽減や、作業意欲の向上が図られた。 ・また、住民が自ら施行計画を立て協働作業を行ったことで、自意識の涵養と愛着をもった維持管理につながった。
6	教育、文化の振興	ソフト・ハード	特定非営利活動法人フォレスト工房もくり	地元間伐材と古材を利用した活動拠点の整備を通じた、林業、環境、建築、防災に関する課題解決と教育プログラムの実践～木材の加工と建て方	森林の管理、森林資源の有効性等を学び林業に携わる人材の育成やゼロカーボンに向けた取組の推進を図るために、森林の生態や管理方法、伐木造材に関する講習をオンラインと実地で実施した。また間伐材と古材を活用して活動拠点となる施設を信州大学の建築学科の学生を中心に整備を行った。 ①講師謝金、研修用大工道具、講習開催費等(1,615) ②大工工事、屋根工事(2,558)	4,174,797	3,211,000	・大学生を対象として、伐木造材講習や在来工法による活動拠点整備を実施し、地域の木材による建築を体験的に学ぶ機会を提供した。

整理番号	主事業区分	タイプの別	申請者	事業名	事業内容 ①：ソフト事業 ②：ハード事業 (単位：千円)	総事業費 (円)	うち 支援金額 (円)	講評
7	教育、文化の振興	ソフト	千曲川北信5市町かわまちづくり推進協議会	かわまちづくり推進事業	千曲川の河川空間等を活用した広域観光の推進を図るために、屋島橋から湯滝橋間を3区間に分けて川下りのモニターツアーを実施するとともに、サイクリングによる歴史散策のモニターツアーを3回実施した。「日本一長い川＝大きな資源」を十分に活用し、地域の活性化を図る。 ①川下りモニターツアー(302)、散策マップ制作費(165)	467,500	374,000	・川下りツアーを通じて、参加した児童等に川に親しみを感じる機会を提供した。
8	環境保全、景観形成	ソフト	一般社団法人未来社会推進機構	古民家・土蔵・古材利用(資源活用型住宅)「しあわせ不動産」事業	集落の維持と地域の活性化を図るために、古民家や土蔵、古材の活用希望者と不動産等をマッチングするとともに、建築や改修工事に関する技術支援に向けて活動した。 具体的には、古民家再生等に関するワークショップの開催や広報用動画の作成、ホームページの開設等を行った。 ①ホームページ制作費、動画撮影及び編集費、チラシ印刷費等(779)	779,240	570,000	・古民家活用に関する各分野の専門家が集まり、利用希望者への物件紹介や古民家活用を支援する組織を立ち上げることにより、県外からの移住者1名の受入れが決定した。
9	その他(産業の振興及び雇用の拡大)	ソフト・ハード	飯山仏壇事業協同組合	飯山仏壇「命の器」ニューノーマル展開事業	国指定の伝統工芸品である飯山仏壇はライフスタイルの変化などにより、市場が縮小し厳しい状況が続いている。R3年度は元気づくり支援金を活用して、「飯山仏壇」の伝統技術の継承と産業振興を図るために新商品として故人の思い出を供養する「命の器」を開発した。 R4年度は、「命の器」の商品化させ、販売に向けた広報及び商品展示会への出品を行い、産業の創出を図った。 ①パンフレット、ホームページ制作費等(2,404) ②商品製作機器購入費(1,078)、消耗品費(198)	3,680,390	2,816,000	・仏壇製作の技術を活かして、これまで存在していなかった商品を開発し、展示会への出品や新聞広告掲出などを行った。 ・新商品の販売促進や飯山仏壇のブランド価値向上に工夫の余地がある。

整理番号	主事業区分	タイプの別	申請者	事業名	事業内容 ①：ソフト事業 ②：ハード事業 (単位：千円)	総事業費 (円)	うち 支援金額 (円)	講評
10	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト・ハード	温井村づくり委員会	温井里山活性化事業	<p>毎月1回ほど廃寺で「寄せ植え」や「座禅」等をテーマにした寺カフェを開催し、直売所では地元の農産物のPR活動を実施した。人口減少や高齢化により、住民が集う機会が減る中で、地域のコミュニティ維持の役割を充実させるために寺カフェの告知や、駐車場整備等を行い、温井地区の活性化を図った。</p> <p>①カフェイベント運営費（講師謝礼費、広報費）（122） ②駐車場等整備費（440）</p>	562,897	416,000	・多様なイベントの開催や地元産食材の提供により、集落外からも集客し、イベントスペースとしての認知度を上げ、集落の活性化につながった。
11	地域協働の推進	ハード	飯山市	協働のむらづくり事業	<p>住民と市が協働して農道や林道、農業用水路等を整備することで、農林業の生産性を高めた。また協働作業を通じて住民同士の交流や連帯を図ることで、地域活性化につながった。事業では、必要な材料支給や重機の提供の支援を行った。</p> <p>②農道整備10地区、林道整備2地区、水路改修19地区（6,9464）</p>	6,946,993	4,133,000	・高齢化が進む農村地域での作業の負担軽減や、作業意欲の向上が図られた。 ・また、住民が自ら施行計画を立て協働作業を行ったことで、自立意識の涵養と愛着をもった維持管理につながった。
12	特色ある観光地づくり	ソフト	スノーモンキー ONSEN・ガストロノミーウォーキング実行委員会	ONSEN・ガストロノミーウォーキングinスノーモンキータウン事業	<p>湯田中渋温泉郷の魅力を発信し、入込増を図るために、8月21日(日)に「めぐる」、「たべる」、「つかる」をテーマに約8kmの温泉街を巡りながら農産物、畜産品、加工品に加え地酒等をふるまうガストロノミーウォーキングのイベントを実施した。開湯1,300年余りの温泉と北信地域の食のPRや、県内におけるONSEN・ガストロノミーウォーキングの浸透を図った。</p> <p>①PR費、イベント運営費等（3,272）</p>	3,272,417	1,997,000	・ウォーキングと町内産の食材・地酒を組み合わせ、温泉街の新しい楽しみ方を提案し、参加者から高い満足を得た。

整理番号	主事業区分	タイプの別	申請者	事業名	事業内容 ①：ソフト事業 ②：ハード事業 (単位：千円)	総事業費 (円)	うち 支援金額 (円)	講評
13	特色ある観光地づくり	ソフト	志賀高原ヒルクライム実行委員会	志賀高原ヒルクライム事業	<p>志賀高原を縦断する国道292号は、標高約500mの湯田中渋温泉郷と標高2200mを越す渋峠を結び、日本国道最高地点を有する国内有数の山岳道路である。</p> <p>旅行者のニーズが多様化する中、自転車を活用した自然に負担をかけない旅行形態が求められており、コロナ禍における自然を活用した旅行商品を造成する必要がある。</p> <p>国立公園内の自然に負担をかけないサイクルツーリズムの振興を図るため、志賀高原ヒルクライムイベントを開催した。</p> <p>①イベント運営費、通行規制（案内看板、チラシ製作等）に伴う経費等（6,750）</p>	6,750,614	3,584,000	<ul style="list-style-type: none"> ・専門誌への掲載やSNSでの好評価などにより、志賀高原に対するサイクリストの認知度が向上し、グリーンシーズン誘客の端緒となった。 ・また、参加者のうち300人以上が町内に前泊し、ゴールサービスで地元のそば等を提供したことで、観光や農業等への波及効果があった。
14	特色ある観光地づくり	ソフト	一般社団法人観光教育・インターンシップセンター	山ノ内町の宿泊施設と連携した観光人材育成プログラム	<p>湯田中温泉、志賀高原という一大観光地を抱える山ノ内町では、旅館業の人手・人材不足が進んでいる。期間従業員等の派遣で対応している事業者も多いが、長期的な視点では、地域や山ノ内町を愛し、将来を担う人材育成が急務である。</p> <p>この課題解決のため、高校生、専門学校生及び大学生を対象に、座学、現地研修を行うほか、宿泊施設の経営を実際に学生が行う旅館経営実践を通し、仕事の理解と就業につなげた。</p> <p>①インターンシップ講師謝礼（360）、講師旅費等（1,099）</p>	1,459,684	1,167,000	<ul style="list-style-type: none"> ・研修後に観光で来訪したり、長期休暇を活用して働きに来るなど、インターンシップ参加者に地域への愛着や観光業への関心を醸成した。
15	農業の振興と農山村づくり	ソフト	北志賀高原観光協会	北志賀そば商品の普及・振興事業	<p>そばの人気が高い長野県だが、北志賀高原のそばも人気が高い。そばを通じた観光誘客と地域活性化を図るために、北志賀そばパスタ、そばサラダといった新メニューや北志賀そばドレッシングを開発した。新メニューは、飲食店のほか、宿泊施設やスキー場等でも味わえるよう講習会を実施するとともに、町内のイベントへも参加して試食会を行い、ツーリズム商品として観光誘致につなげた。</p> <p>①新メニュー料理開発及び講習会開催費（737）、試食会開催費（228）、イベント備品等（313）、ドレッシング開発費（220）</p>	1,498,750	1,198,000	<ul style="list-style-type: none"> ・町内産のそばを使った新メニューや新商品を開発し、イベントや試食会により地域の魅力をPRした。 ・新メニュー取扱店の増加に向けて、工夫の余地がある。

整理番号	主事業区分	タイプの別	申請者	事業名	事業内容 ①：ソフト事業 ②：ハード事業 (単位：千円)	総事業費 (円)	うち 支援金額 (円)	講評
16	地域協働の推進	ハード	山ノ内町	地域協働で農業に活力を与えるための施設整備	<p>高齢化や後継者不足により、農林業の経営は困難な状況に置かれ、負担軽減や効率化を図る上で、農林業に欠かせない農道、林道及び農業用水路の整備は急務である。地域で実施される農道や用排水路の補修等の協働活動のために、必要な材料支給や重機の提供の支援することで、住民の交流や地域のつながりの強化を目指した。</p> <p>②農道整備1地区(742)、林道整備1地区(840)、水路改修2地区(2,000)、標柱費(61)</p>	3,645,298	1,822,000	<p>・高齢化が進む農村地域での作業の負担軽減や、作業意欲の向上が図られた。</p> <p>・また、住民が自ら施行計画を立て協働作業を行ったことで、自立意識の涵養と愛着をもった維持管理につながった。</p>
17	環境保全、景観形成	ソフト・ハード	特定非営利活動法人太陽と水と緑のプロジェクト	安全・安心な魅力ある木島平エコヴィレッジ・ゼロカーボン推進事業	<p>豪雪地域でのゼロカーボン推進を図るため、R2年から支援金を活用して3年目。今年は、村内で太陽光発電パネルを設置するモデルハウスを募集するとともに、中学生に小太陽光発電・LEDライトの製作講習と家庭での設置、さらに太陽光パネルを使用した電気柵の設置等により、ゼロカーボンに対する住民の関心を高めた。</p> <p>①ソーラーパネル材料費(663)、多機能電気柵2台(72)、ワークショップ講師謝礼(120)、消耗品(113) ②太陽光発電設置費(849)</p>	1,817,862	1,408,000	<p>・太陽光の活用が難しい豪雪地帯において、ソーラーパネルを手作りするワークショップや学習会を開催し、太陽光の活用を住民が身近に感じる機会をつくった。</p> <p>・住民の理解醸成や近隣自治体からの関心の高まりを活かして、ゼロカーボンの取組がさらに展開することが期待できる。</p>
18	農業の振興と農山村づくり	ソフト	一般社団法人木島平村観光振興局	本当においしい木島平食材をもっと「知りたい・PRしたい」プロジェクト	<p>木島平米等の木島平食材の認知度向上と消費拡大により生産意欲の向上とブランド化・産地化を図るために、木島平村の米、野菜、酒を扱う村内外の店舗に「木島平食材の取扱店」のプレートを提供した。また村内の圃場で年3回の稲作文化体験講座を開催し、米作り・稲作文化に触れる機会を設け、木島平米ファンを増やす。</p> <p>①プレート製作費(427)、稲作体験講師謝金(30)、看護師謝金(16)、刈払機3台(149)、資材費(114)</p>	738,541	588,000	<p>・村内産の農産物を取り扱う飲食店等へのプレート設置や稲作体験により、農家の生産意欲向上や関係人口の増加につながった。</p>

整理番号	主事業区分	タイプの別	申請者	事業名	事業内容 ①：ソフト事業 ②：ハード事業 (単位：千円)	総事業費 (円)	うち 支援金額 (円)	講評
19	農業の振興 と農山村づくり	ソフト	木島平村	デジタル空間を活用した～木島 平米PR事業～	<p>米のオリンピックと言われる「米・食味分析鑑定コンクール：国際大会」で8年連続金賞を受賞した木島平米。しかしコロナ禍で対面でのPR活動が減り需要減となっており、販売量や販路の拡大等を図るために、木島平米・金紋錦日本酒のデジタルパンフレットを作成するとともに、生産者自らがインターネットで木島平米を販売できるようにするためデジタル化講習会等を行った。</p> <p>①講習会講師謝金(55)、デジタルパンフレット製作費(727)、SNS等広告掲載費(968)、オンラインイベント運営費(660)</p>	2,411,655	1,702,000	<ul style="list-style-type: none"> デジタルパンフレットやPR動画の作成により、対面以外の方法で木島平米をPRし、デジタル講習会により、農業者自らが販路拡大に向けてPRする機運をつくった。 米の販売増加につなげるため、デジタルパンフレットやPR動画の活用工夫の余地がある。
20	教育、文化 の振興	ソフト	Nozawa Art Project 運営 委員会	Nozawa Art Project 2022	<p>岡本太郎等の芸術作品等が点在する野沢温泉村において芸術作品を通じてグリーンシーズンの観光と内外の人々との交流を図るために、ペインティングや写真を楽しむ「ワークショップ」、村内の各種施設に美術作品を設置し、観光客、村民が参加して散策しながら入賞作品を決める人気投票「アートウォーク」を開催した。また、作品はホームページ上でも閲覧できるようにし、動画の掲載も行うことで新しい誘客に結びつけた。</p> <p>①ワークショップ開催費(951)、アートウォーク開催費(1,464) ホームページ制作費(137)</p>	2,553,409	1,772,000	<ul style="list-style-type: none"> 村内の芸術作品を活用した新たなイベントを開催することで、グリーンシーズンの楽しみ方を提供し、観光客と住民、住民同士の交流の機会をつくった。
21	特色ある観 光地づくり	ソフト	一般財団法人 野沢温泉 観光協会	新・湯治 NOZAWA ONSEN Stay【養生食開 発事業】	<p>日本で唯一、自治体名に「温泉」が付く野沢温泉村。年間3万人訪れたインバウンド重要の急減に伴い温泉を活かした新たなコンテンツ作りが課題となっている。課題解決のため、「新・湯治」による滞在型の宿泊スタイルを提案するために、温泉食材(粥、湯葉、卵等)と郷土料理を活用した養生食講習会の開催やレシピテキストを作成し、通年型の観光誘客を図った。</p> <p>①講習会講師謝礼(300)、レシピ開発費(300)、講習会開催費(400)</p>	1,000,000	800,000	<ul style="list-style-type: none"> 温泉と郷土料理という地域資源を活かす「養生食」を新しい集客コンテンツとして村内宿泊施設に提案した。 講習会への参加や、「養生食」の採用増加に向け、施設への働きかけに工夫の余地がある。

整理番号	主事業区分	タイプの別	申請者	事業名	事業内容 ①：ソフト事業 ②：ハード事業 (単位：千円)	総事業費 (円)	うち 支援金額 (円)	講評
22	商業の振興	ソフト	野沢温泉スタンプ会	若者も手軽に♪ゆ〜ゆ〜カードポイントをスマホアプリで貯めよう！	<p>ポイントを地域通貨として利用できるとともに、キャッシュレス決済機能を有した「新・ゆ〜ゆ〜カード」を令和3年秋から導入を始めた。今年度は、若者や観光客への利用を広げるためにスマートフォンでも対応できるアプリを導入し、さらなる利用者の拡大を図った。</p> <p>①スマホアプリ制作費(1,672)</p>	1,672,000	1,254,000	・アプリ化により、発行枚数及び消費額ともに前年を上回り、村内での経済循環を促進した。
23	特色ある観光地づくり	ソフト	広域サイクリングルート研究会	広域サイクリング観光推進事業	<p>密を避け、気軽にしめるとして人気の高いサイクリングやポタリングを、栄村だけでなく十日町市、津南町の観光協会と連携して、普及を目指した。受入環境整備として市町村間の自転車乗り捨て制度の構築や、SNS投稿による参加型企画を実施し、ポタリングの推進や、奥信越地域の自然、文化、歴史等の魅力のPRにつなげた。</p> <p>①専用ホームページ制作費等広報費(983)、受入環境整備費(37)、景品送料等(16)</p>	1,038,032	790,000	<ul style="list-style-type: none"> ・専用ホームページやSNSにより、レンタサイクル利用者の増加につながった。 ・乗捨サービス事業の展開に工夫の余地がある。
24	特色ある観光地づくり	ソフト・ハード	サスティナブルツーリズム秋山郷実行委員会	秋山郷サスティナブルツーリズム事業	<p>長野・新潟両県に位置する秋山郷の観光振興を図るために、遊休施設等を改修して拠点施設を整備するとともに、初夏から秋頃までに秋山郷内を巡る着地型観光ツアーを開催した。またサスティナブルの視点から、食を通して自然環境を知り、食料廃棄問題など、学ぶツーリズムの推進を図った。</p> <p>①観光ツアー運営費(323)、観光ツアー宣伝費(710) ②にぎわい拠点整備費(2,822)</p>	3,855,046	2,942,000	<ul style="list-style-type: none"> ・ツアーやSNSを通して、秋山郷の食文化等の魅力を発信した。 ・より多くの方に秋山郷の食文化を伝えるため、ツアー参加者の増加に工夫の余地がある。

整理番号	主事業区分	タイプの別	申請者	事業名	事業内容 ①：ソフト事業 ②：ハード事業 (単位：千円)	総事業費 (円)	うち 支援金額 (円)	講評
25	その他（産 業の振興及 び雇用の拡 大）	ソフト・ ハード	青倉受託作 業班	若者と協働して つくる安全安心 な超特別栽培米 プロジェクト	<p>高齢化や人口減少から田んぼを守ることを目的に結成された青倉受託作業班。これまでは農地を守ることに重きを置いてきたが、生産する米の販路拡大等を図るために、新たに「SNOW RICE」（仮称）のブランド米を作り、販路拡大を目指す。具体的には、ロゴマークやパッケージ作成に加え、色彩選別機や選別計量機による高品質化によるブランド化を進めた。</p> <p>①米袋デザイン費（100）、収穫祭講師謝金（100） ②色彩選別機及び選別機導入費（3,033）</p>	3,285,920	2,435,000	<ul style="list-style-type: none"> ・生産者が移住者等の若者と協働することにより、互いの信頼関係を構築し、減農薬栽培の米をブランド化した。 ・事業に協力した移住者自身が、新しい移住希望者を手助けし、体験ツアー等の受け入れも可能となった。
26	地域協働の 推進	ハード	栄村	農地等国土保全 事業	<p>農業従事者の高齢化が進む中、農業用施設の維持管理作業の軽減を図るため、集落等の要望により改修が必要な農道及び用排水路等について、村が原材料等を支給した。</p> <p>②農道整備3地区（545）、水路整備9地区（2,941）</p>	3,249,691	1,841,000	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進む農村地域での作業の負担軽減や、作業意欲の向上が図られた。 ・また、住民が自ら施行計画を立て協働作業を行ったことで、自立意識の涵養と愛着をもった維持管理につながった。
27	教育、文化 の振興	ソフト	高丘ゆるゴ ミ拾い部	高丘の中心で環 境を叫ぶ！ TAKAOKA市場 2022	<p>地域住民の世代間交流の場を設けて楽しみながら環境問題への啓発を促すため、環境問題（脱プラ、リサイクル、リユース）をテーマとしたイベントを開催。若年層の関心を集めるきっかけとして、ごみ拾いアプリ（ピリカ）の活用やマーブルクレヨン作成体験、ゼロ円マルシェの実施をした。また、SNSを通じて地域のみならず全国に活動を広め、ゼロカーボンに向けた取り組みを推進した。</p> <p>①イベント実施費（655）</p>	655,424	479,000	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ拾いイベントを通じて、身近な環境問題やSDGsへの意識付け、世代間交流の機会をつくった。 ・アプリやSNSの活用などにより、活動の担い手となりうる若い世代の関心を喚起した。取組の持続的な展開が期待できる。

整理番号	主事業区分	タイプの別	申請者	事業名	事業内容 ①：ソフト事業 ②：ハード事業 (単位：千円)	総事業費 (円)	うち 支援金額 (円)	講評
28	その他（産業の振興及び雇用の拡大）	ソフト	飯山商工会議所	IIYAMA Creative 地域力発信！インバウンド向けプロモーション事業	<p>海外に向けて飯山地域の魅力を発信するため、飯山市内在住の外国人が大切な人に「おすすめ」したい飲食店・風景・お祭り・文化など日常生活を紹介する動画を外国語（英語）で制作し、YouTubeで配信した。また、市内商工業者が自らの魅力を動画で発信出来るようにするセミナーを実施した。</p> <p>①動画撮影制作費（1,453）、事業者セミナー等（90）</p>	1,544,008	1,124,000	<ul style="list-style-type: none"> ・在住外国人の視点を入れて動画を作成し、市の日常生活の魅力や楽しさをPRした。 ・また、動画作成セミナーを開催し、商工業者が自らSNSで魅力を発信することにつながった。
29	農業の振興と農山村づくり	ソフト・ハード	飯山そば振興研究会	飯山のさつまいもによる元気な地域づくり事業	<p>そばの連作障害を避けるため、連作に強いサツマイモを栽培し、そのサツマイモを近年人気となっている「焼きいも」にして販売した。また、焼きいもを使った商品開発を下高井農林高校食品加工コースの生徒と共同開発し、地域の新たな産地形成・魅力づくりに取り組み地域振興を図った。</p> <p>①商品開発経費等（88） ②遠赤外線電気焼き芋機（594）、焼きいも壺セット（462）</p>	1,144,600	862,000	<ul style="list-style-type: none"> ・そばの連作障害への対策や遊休荒廃地の解消、新たな特産品づくりに向け、サツマイモ栽培の課題把握を行った。
30	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト	木島平村	木島平村PR事業	<p>木島平村を知らない方に木島平村の魅力をPRするために、総合的な動画を新たに作成し、新たな関係人口を創出する。内容は、ウィズコロナをイメージできる新しい生活様式にスポットを当てた動画を作成し、対面型PRと合わせて更に訴求力高めることで、移住者や観光客等の関係人口増へつなげる。</p> <p>①PR動画作成（動画企画、取材撮影、編集等）（1,100）</p>	1,100,000	880,000	<ul style="list-style-type: none"> ・村の魅力を総合的に紹介する動画を作成し、対面型の移住促進イベントのほかSNS等での発信に活用した。 ・移住、集客につなげるため、動画の活用に工夫の余地がある。

合計（30事業）